

感染症の流行・発生状況について
2025年第41週(10月6日～10月12日)診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	なし
注意報	インフルエンザ

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・伝染性紅斑 (中部、南部保健所) ・流行性角結膜炎 (北部、南部保健所)	・インフルエンザ (中部、那覇市、南部、八重山保健所) ・水痘 (北部、那覇市、南部、八重山保健所)

● 2025年第41週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核 3件 《四類感染症》 ・レジオネラ症 1件	《五類感染症》 ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 ・百日咳 1件
--	--

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1)インフルエンザ
本県から令和7年10月10日付けでインフルエンザ流行状況について、インフルエンザ注意報発令のプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.jp/press/1034048/index.html>
感染症発生動向調査による本県の定点からのインフルエンザ報告数が、2025年第40週で定点当たり12.18人(報告数548人)となり、注意報の発令基準である10人を超えました。第41週においても定点当たり14.38人(報告数647人)と増加しております。南部保健所管内においても、第40週の定点当たり6.75人(報告数81人)と比べ41週で定点当たり10.25人(報告数123人)と1.51倍に増加しております。
インフルエンザの感染予防には「手洗い」「咳エチケット」「換気」「予防接種」が有効です。定期接種については各市町村の情報を参照ください。

2)水痘(水ぼうそう)
南部保健所管内において、2025年第40週において定点当たり0人(報告数0人)でしたが、第41週で定点当たり1.00人(報告数6人)と注意報発令レベルを上回りました。
水痘は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。感染及び重症化予防には感染者との接触を控えることと予防接種が有効です。定期接種の対象でまだ接種を受けていない方は早めに接種ください。

3)伝染性紅斑(りんご病)
2025年第30週に本県から伝染性紅斑の警報が発令がされていましたが、感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が第40週で定点当たり0.88人(報告数22人)と終息基準値を下回ったため警報発令は解除となりました(警報終息基準値1.0)。一方、南部保健所においては第40週の定点あたり1.17人(報告数7人)、第41週では定点あたり1.50人(報告数9人)と微増で、依然として警報発令レベルを上回っております。
伝染性紅斑は飛沫感染により感染するため咳エチケットや手洗い等の標準的な対策が有効で、予防のためのワクチンはありません。妊婦に感染すると流産・死産や重度の貧血、胎児水腫の恐れがあるため、妊婦は流行している施設や集団へ接触しないよう注意が必要です。

4)流行性角結膜炎
南部保健所管内において、2025年第40週において定点当たり11.00人(報告数22人)、第41週で定点当たり11.00人(報告数22人)と同数報告で継続して警報発令レベルを上回っています。
流行性角結膜炎は、眼瞼(まぶた)の浮腫、流涙(なみだ目)、耳前リンパ節の腫脹などを特徴とする眼の感染症です。目からの分泌物を介して感染するため、分泌物の適切な処分、手洗いの励行、タオルや目薬など目に接触するものの共用は避けましょう。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ＃7119電話相談」(＃7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数						南部保健所管内報告数					
疾病名	定点区分	38週	39週	40週	41週	41週	38週	39週	40週	41週	41週
		9/15	9/22	9/29	10/6	(定点あたり報告数)	9/15	9/22	9/29	10/6	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	320	404	548	647	(14.38)	49	64	81	123	(10.25)
咽頭結膜熱	小児科	11	11	14	6	(0.24)	3	3	6	2	(0.33)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	20	30	21	36	(1.44)	2	4	4	2	(0.33)
感染性胃腸炎	小児科	79	90	79	88	(3.52)	29	44	42	41	(6.83)
水痘	小児科	10	7	9	23	(0.92)	1	0	0	6	(1.00)
手足口病	小児科	31	41	52	53	(2.12)	10	16	14	10	(1.67)
伝染性紅斑	小児科	38	42	22	26	(1.04)	7	8	7	9	(1.50)
突発性発疹	小児科	1	3	6	8	(0.32)	0	3	1	5	(0.83)
ヘルパンギーナ	小児科	5	11	9	7	(0.28)	1	3	4	1	(0.17)
流行性耳下腺炎	小児科	0	0	2	2	(0.08)	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	1	0	0	0	(0.00)	1	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	53	39	49	44	(5.50)	33	23	22	22	(11.00)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	2	0	1	(0.14)	1	1	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	8	12	5	4	(0.16)	2	1	2	1	(0.17)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	214	225	177	120	(2.67)	76	93	58	34	(2.83)

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。

警報

注意報